

## 米寿祝賀会を開催

7月19日（土）、鶴遊館で平成20年度米寿祝賀会が開催されました。

米寿祝賀会は、米寿（数えの88歳）を迎えた方々を祝い、これからも元気で生きがいのある生活を送ってもらおうと毎年行われています。

今年の対象者は、大正10年生まれの方々と、86人（男性23人・女性63人）となり、祝賀会では、中野町長より記念品が一人ひとりに手渡されました。また、アトラクションでは、人形芝居、民謡、三味線などを鑑賞し楽しいひとときを満喫しました。

ぜひ100歳の金メダルを目指して、いつまでもお元気で！



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場企総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（☎22-2111 内線263）



△さすがは健康長寿の町です。今年は86人の方が米寿を迎えられました。

## 鶴田産の大豆で豆腐づくりを体験

7月24日（木）、菖蒲川学校（川浪定雄校長）3年生と父母をあわせて16人が、鶴田町大豆・米加工施設（あるじゃ隣）で、豆腐づくりを体験しました。

始めに加工施設の指導員から、どのように豆腐ができるのかを聞いた後、実際に作業を見学。1日水に浸した大豆ををすりつぶし豆乳にする（この時発生する大豆のカスがおから）、豆乳を沸騰させる（この時表面にできる膜が湯葉）、豆乳ににがり（塩化マグネシウム）を混ぜて完成。と一連の作業を学習した後は、自分だけの寄せ豆腐づくりに挑戦。参加者全員がオリジナル寄せ豆腐を完成する事ができました。美味しいことにまちがいありません。



△豆乳ににがりを混ぜたらできあがり！早く固まらないかな。

## 鶴遊館にねぶたがやって来た

7月18日(金)、鶴田高校(森川敏行校長)では翌日から始まる鶴高祭をPRするため、生徒や教職員など150人が参加して手づくりのねぶたを運行しました。

今年で5年目を迎える鶴高ねぶたの運行は、八木橋清志さん(田中町)の指導のもと、1ヶ月ほどかけて製作した人形ねぶたを鶴高前からスタートして駅前、本町、元町を通り、最終の鶴遊館へと運行しました。鶴遊館では、デイサービスを利用する皆さんの前で、ねぶたと囃子が披露され、ねぶたを間近で観覧した利用者の皆さんは大喜び。そして惜しめない拍手を送っていました。最後に、鶴田高校ねぶた責任者の八木橋さんから「来年もまた来ます。ぜひ元気でお過ごしください」と心温まるあいさつでねぶた運行を終えました。



△利用者の皆さんは大喜び、思わず手拍子が。



△消防署員の指導のもと、消火ホースをたたむクラブ員。

## 婦人防火クラブが訓練を行う

7月25日(金)、婦人防火クラブ(坂本俱慧会長)17人が、鶴田消防署で消火訓練および救助訓練を行いました。

消防署員指導のもと、消火訓練では、野外で消火ホースの出し方、放水、たたみ方の実技を行い、その後の救助訓練では、署員からの人命救助の講義を受けた後、実際にダミー人形を使って、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動装置)の使用方法の実技を行いました。



△ダミー人形を使った人工呼吸。

## 夜の本町大にぎわい! 夕鶴まつり

7月19日(土)、本町通り商店街を会場に「夕鶴まつり」が開催され、多くの人出でにぎわいました。

このまつりは、本町通り商店街振興会(玉井勇治会長)が主催し、今年で17回目を迎えます。

夕方から歩行者天国になった本町通りには、豪華賞品が当たる福引き抽選会やフリーマーケット、ビアガーデン、活イカ釣りなどたくさんのお店が立ち並び、どこの店も家族連れや子どもたちで溢れていました。また通りの中央では、よさこいソーランや五ツ太鼓が演技が披露されまつりを一段と盛り上げていました。



△びしょ濡れになりながらもイカ釣りに夢中になる子どもたち。